

## お わ り に

日本老年看護学会老年看護政策検討委員会では、これまで行ってきた学会員への調査結果をもとに、各年度の課題を決めて、政策提言のための活動を進めてまいりました。

とりわけ今期においては、平成 25 年度診療報酬化のための看護技術提案書を取りまとめ、看護系学会等社会保険連合を通じた診療報酬化への提案を行ってきました。それに引き続き、平成 26 年度は、認知症入院患者への質の高い看護を提供するための政策提言として、認知症をもつ入院患者への老年学チームの有効性について、メタアナリシスによりエビデンスの評価を行う活動を行うとともに、高齢者看護の現場におけるチーム医療の具体的内容や、多職種連携の具体例について本調査を行い、実態を把握することにいたしました。エビデンスの評価と実態調査により現場の具体例を収集することは、どちらも政策提言にとって重要な要素といえます。これまで日本老年看護学会では、高齢者看護に関するエビデンスを示す活動に学会として十分取り組んできたとは言い難く、現場の実情を吸い上げる努力が少なかったように感じてきました。そこで、今回のような取り組みを行うこととしました。

本実態調査を行うにあたり、委員会では調査の枠組みを検討し、政策提言のために必要なデータを明瞭に収集できるように調査票を工夫しました。さらに回収率を高めると同時に、データの入力と解析のための時間を削減し、限られた委員会予算で最大の成果を上げることができるよう努力してきました。

本日この報告書のまとめを終えますが、この報告書が今後有効に活用されなければ、看護の現場は変わっていきません。学会員各位におかれましては、教育・研究、そして実践などあらゆる場において、本実態調査報告書を活用していただき、今後の認知症患者へのチーム医療の向上に役立てていただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、本実態調査報告書を取りまとめるにあたり、老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師の方々、およびその代表の方々、調査の回答システムを作成していただいた(株)ムーンプクトリーの皆様にはご多用の折、多大なご協力を頂きました。この場を借りて、感謝申し上げます。学会員の皆様からのご批判をいただけますことは委員一同望外の喜びであることを記し、稿を終えます。

平成 26 年 11 月 26 日

日本老年看護学会理事・老年看護政策検討委員会委員長  
亀井智子(聖路加国際大学看護学部)

# 調查票





2) 勤務する機関の種類  
(主なもの1つ)

- ・大学附属病院
- ・がん拠点病院
- ・ナショナルセンター
- ・一般病院
- ・精神科病院
- ・警察型病院/病棟
- ・有床診療所
- ・無床診療所
- ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ・訪問看護ステーション
- ・その他(ご記入ください)

これ以降の質問は、医療機関に勤務する方のみお答えください。  
医療機関以外に勤務している方は、ここで調査は終了です。送信ボタンを押し  
て、終了してください。ご協力ありがとうございました。 送信

3) 医療機関全体のベッド数と内訳

内訳	床
介護保険施設(養老院)	床
介護保険施設(療養病棟)	床
一般病棟	床
老人性認知症疾患療養病棟	床
精神科病棟	床
感染症病棟	床
精神科病棟	床
回復期リハビリテーション病棟	床
ICU	床
HCU	床
ホスピス	床
その他	床

4) 患者ケアの看護体制  
(複数回答可)

- 固定チームナーシング
- 非固定チームナーシング
- フロントナースナーシング(受け持ち制)
- モジュール型看護方式
- 機能別看護方式
- その他のご記入ください

5) 所属機関の専門職員数(常勤換算)

医師	看護	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	放射線技師	看護補助員	介護士	社会福祉士	介護士	その他
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

6) 一般病棟の場合のみ回答)  
入院基本科の看護体制

- ・15対1入院基本科
- ・13対1入院基本科
- ・10対1入院基本科
- ・7対1入院基本科
- ・その他(ご記入ください)

7) 2014年2月1か月間の院内の全入院患者数

8) 2014年2月1か月間の院内の全退院患者数

9) 病棟ユニット等の1看護ケア単位の病床数

10) 医療機関全体の病棟ユニット数

11) 1日勤務の看護員が受け持つ患者数

12) 夜間(深夜)勤務帯の看護員が受け持つ患者数

これ以降の質問で設定している「2月中のある一日」とは、同一日が望ましいですが、数日の範囲内であれば、異なる一日を設定されても構いません。

3) あなたが主に勤務する病棟/ユニットの入院患者について回答してください  
1) 2014年2月のある一日の入院患者の入院時の日常生活行動(ADL)の自立度

全介助	介介助	自立
名(食事摂取、排便、歩行などに部分的介助が必要、認知機能低下により、指示や見守りが必要)	名	名(食事摂取、排便、歩行などへの介助は不要)
不明	合計	合計
名	名	名

2) 2014年2月のある一日の入院患者の入院時の介護保険制度の要介護度

要介護5	名
要介護4	名
要介護3	名
要介護2	名
要介護1	名
要支援2	名
要支援1	名
不明	名

※2014年2月のある一日の入院患者のうち、認知症のない患者数、およびアルツハイマー病、またはアルツハイマー型認知症と診断を受けている患者の入院時の認知症の程度（FAST分類別）の人数

- 1 正 常：（認知症なし）
- 2 年齢相応：時に物忘れがあるが社会生活上問題ない。
- 3 軽度失能：仕事や家の接待できない、買物や家事は可能
- 4 軽度認知症：家事などできないが、身の回りのことはできる
- 5 中等認知症：身の回りのことに介助必要、家庭内で行動制限不要
- 6 高度認知症：常に身の回りの介助と居抜きに行動制限が必要
- 7 重症認知症：自分の置かれた状況を、耳に聞こえていない、見えていない、自分で置かれた状況を認識できない、
- 8 不明

④ 2014年2月のある一日の入院患者の入院時の年齢階級別人数

- ・64歳以下 名
- ・65～74歳 名
- ・75歳以上 名

⑤ 2014年2月のある一日の入院患者の入院直前の生活場所

- ・自宅 名
- ・医療機関 名
- ・介護老人福祉施設 名
- ・介護老人保健施設 名
- ・グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 名
- ・サービス付き高齢者向け住宅 名
- ・介護老人ホーム（ケアハウス等） 名
- ・有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護 名
- ・その他1～ご記入ください 名
- ・その他2～ご記入ください 名
- ・その他3～ご記入ください 名
- ・不明 名

⑥ 2014年2月のある一日のおなたが勤務する病院・ユニットの患者の退院先

- ・入院前と同じ場所へ退院 名
- ・病院 名
- ・施設入所 名
- ・死亡退院 名
- ・不明 名

⑦ おなたが勤務する医療機関が診療報酬請求で算定したチーム医療の状況  
2014年2月のある一日に算定した診療報酬各チームの有無、加重を算定した患者の有無、加重を算定した患者数の合計(院内全体)

診療報酬各チーム	院内全体の有無	算定患者の有無	おなたがご所属のチームに算定した患者数	算定した患者数
【290-4】 精神科リハビリテーション加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A283-2】 栄養サポートチーム加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A284】 呼吸ケアチーム加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A285】 看護ハイリスク患者ケア加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A284-2】 認知症予防医療加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【早期リハビリテーション加重】	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【1000】 重症管理療養型ICU加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【1002】 運動療育ICU加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【1003】 呼吸器ICU加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【1004】 透析療育ICU加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【1010】 重症認知症患者ケア・ケア料	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A283】 栄養管理医療加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A288-8】 地域連携認知症支援加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A289-8】 地域連携認知症集中治療加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A240】 総合評価加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【A314】 認知症診療科入院料	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
1. 認知症診療科入院料1	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
2. 認知症診療科入院料2	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【288】 認知症診療科病院費加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【B005-1-2】 介護支援連携増進料	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【B006】 退院後共同管理料	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【288-2】 常時専門看護増進料	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人
【介護報酬】 看護費加重	なし・あり・不明	なし・あり・不明	なし・あり・不明	人

⑧ 2014年2月のある一日の認知症、または認知症が疑われる患者の状態について

1) 行動心理状態 (BPSD) を算定した認知症等患者数(年齢は問わない)	人
具体的な行動心理状態別の人数	人
・ 集束、不穏状態	人
・ 攻撃性(暴行・暴言)	人
・ 叫声	人
・ 拒絶、ケアへの抵抗	人
・ 活動障害(徘徊、常同行動、無目的な行動、不適切な行動)	人
・ 食行動の異常(異食、過食、拒食)	人
・ 妄想(ものごられ妄想、被害妄想、嫉妬妄想など)	人
・ 幻覚(幻視、幻聴など)	人

・施設にこは自分の家でないなど) ・感情面の障害(抑うつ、不安、興奮、アパシーなど)	人・不明 人・不明
2) 身体的拘束を行った認知症等患者数	人・不明
3) 向精神薬を処方されている認知症等患者数	人・不明
4) 向精神薬が追加処方、または増量となった認知症等患者数	人・不明
5) 転倒・転落を生じた認知症等患者数	人・不明
6) 異常心拍管イベントを生じた認知症等患者数	人・不明
7) 6)以外の病状の急変を生じた認知症等患者数	人・不明
8) せん妄を発症した認知症等患者数	人・不明
9) その他—具体的に記入ください( )	人・不明

例) 2014年2月のある一日に、認知症等の患者へ行った具体的なチーム医療の内容について、各患者を名を上げて、お書きください。

(1) 行動心理状態(BPSD)を発症した認知症等患者へのチーム医療の具体的な内容(各名まで)

- ・回答不明
- 患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
BPSD の回復に要した期間 日  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )
- 患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
BPSD の回復に要した期間 日  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )
- 患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
BPSD の回復に要した期間 日  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )

(2) 身体的拘束を行った認知症等患者へのチーム医療の具体的な内容(各名まで)

- ・回答不明
- 患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
身体的拘束の解除に要した期間 日  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )

- 患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
身体的拘束の解除に要した期間 日  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )
- 患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
身体的拘束の解除に要した期間 日  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )

(3) 向精神薬を処方されている認知症等患者へのチーム医療の具体的な内容(各名まで)

- ・回答不明
- 患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )
- 患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )
- 患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )

(4) 向精神薬が追加処方、または増量となった認知症等患者へのチーム医療の内容(各名まで)

- ・回答不明
- 患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )
- 患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的な内容(300 字以内)  
( )

(6) 転倒・転落を生じた認知症等患者へのチーム医療の内容(3名まで)  
・回答不明

患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

(6) 突然の血管イベントを生じた認知症等患者へのチーム医療の内容(3名まで)  
・回答不明

患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

(7) 60 以外の病状の急変を生じた認知症等患者へのチーム医療の内容(3名まで)  
・回答不明

患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

(8) せん妄を発症した認知症等患者へのチーム医療の内容(3名まで)  
・回答不明

患者 A 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 B 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )

患者 C 性別 男性・女性  
年齢 歳  
認知機能障害の程度 軽度・中等度・重度  
チーム医療の具体的内容(300 字以内)  
( )



